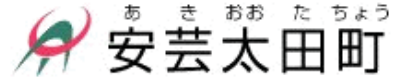


お知らせ



国土を整え、全力で備える
中国地方整備局
三次河川国道事務所
Miyoshi office of River and National Highway



〔資料提供先〕 広島県政記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、
三次記者クラブ

平成31年3月15日



平成30年度重点「道の駅」選定書授与式を行います

平成31年1月30日に、道の駅「来夢とごうち」^{らいむ}（広島県安芸太田町）
が平成30年度重点「道の駅」に選定されました。

つきましては、以下のとおり平成30年度重点「道の駅」選定書授与式を
行いますので、お知らせします。

【平成30年度重点「道の駅」選定書授与式】

1. 日 時:平成31年3月20日(水) 11:00～
2. 場 所:安芸太田町役場 町長室
(住所:広島県山県郡安芸太田町大字戸河内784-1)
3. 参 加 者:安芸太田町 小坂 眞治(こさか しんじ)町長
三次河川国道事務所 道中 貢(みちなか みつぎ)事務所長

<参考>

国土交通省では、平成31年1月30日に全国で15箇所の重点「道の駅」を選定
しました。

国土交通省HP : http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001129.html

※当日取材にお越しの方は、事前に安芸太田町企画課までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

○重点「道の駅」「選定書授与式」に関する問い合わせ

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長 鎌田 裕介(かまた ゆうすけ)

【担当】調査設計課長 伊藤 法政(いとう のりまさ)

TEL : (0824) 63-4121 (代表) : (平日・昼間)

○道の駅「来夢とごうち」に関する問い合わせ

安芸太田町

企画課長 二見 重幸(ふたみ しげゆき)

TEL : (0826) 28-2111 (代表) : (平日・昼間)

[参考] 道の駅「来夢とごうち」(広島県安芸太田町) 企画概要 <既設>

- 地域商社による「地域商社機能」「地域DMO機能」「道の駅運営」の三位一体の取組による稼ぐ観光まちづくりの拠点
- 高速道路ICや広島市に近接する立地を活かし、インバウンドを呼び込むためのゲートウェイ機能を強化
- 国際教育を推進している地元高校とチームを組み、インバウンド対応に向けた新たなサービスを創出
- 町の魅力を伝えるショールーム的役割を担うため、周辺の景観、自然へのいざない、人と人との交流の舞台となる「道の駅」を実現



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既存	設置年度	種別
来夢とごうち	広島県	安芸太田町	国道191号	既存	平成7年	単独型

<道の駅来夢とごうちの目指す方向>

つながることによる価値創造エンジン

多目的ハブ機能

➢ 「道の駅」でつなぐ

- ・ヒト・モノの導線をつなぐ(物流・交流の結節点)
- ・都会と田舎をつなぐ(自然と癒しの地域パークのメインゲート)
- ・町内の観光地をつなぐ(三段峡・井仁棚田・恐羅漢・温井ダム)

➢ 「道の駅」が関わってつなぐ

- ・広島市等との広域観光連携により世界とつなぐ(インバウンド)
- ・DMOと産品をつなぐ(一元的ブランディング・プロモーション戦略)
- ・事業者をつなぐ(事業者間・産業間連携・産官学連携)

➢ 「道の駅」をより楽しめる目的地に

- ・来訪者、お客様にやさしい、使いやすい導線
- ・地域の商品、食事のラインナップの充実、休息・遊び・体験の場の整備

➢ 「道の駅」を安芸太田町のまちの魅力を伝えるショールーム

- ・安芸太田町の魅力を伝えるプレゼンテーションの場
- ・リピーターを飽きさせない、新鮮な情報発信をつづける場
- ・新しい来訪者に興味を持ってもらう場

まちの玄関口

わくわく感あふれる自然と癒しの地域パークへの誘い

これまでの取組



町内特産品を高付加価値化した「チョコちゃん」



産官学協業で開発した祇園坊柿ジェラート



町内起業者のビジネスモデル実験や新商品試験販売を実施



JNTO認定外国人観光案内所(カテゴリー1)

< 提案の先駆性・ポイント >

- DMO機能を持つ「地域商社」が道の駅を運営し、商品(モノ・コト)開発、プロモーション、観光客の受入を地域の事業者等との連携により実施し、「稼ぐ観光まちづくり」を推進する。
- 広島市を訪れるインバウンド150万人を中山間地域に呼び込むための拠点として機能させる。
- 高速C近傍の立地を活かし、高速バスによる貨客混載での新鮮野菜出荷の拠点を形成する。

< 実施内容 >

- ゲートウェイ機能を強化する道の駅本体及び周辺施設のリニューアル(再配置等)
- 特産品の祇園坊柿等を活用した新規商品開発と既存商品のブラッシュアップ及びプロモーション強化
- 郷土料理、工芸等を活用した体験施設、メニューの整備
- 高速バスを活用した貨客混載での新鮮野菜出荷の拠点として、広島市中心部のバスセンターにおける受け取りの仕組みづくり
- 地元高校生とインバウンドのチームによるインバウンド向けサービスの創出 等

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

- 平成30年10月5日(金)～10月25日(木)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、
重点「道の駅」候補は全国で14箇所を選定

その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後は毎年、公募を実施することを想定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・新たな観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援